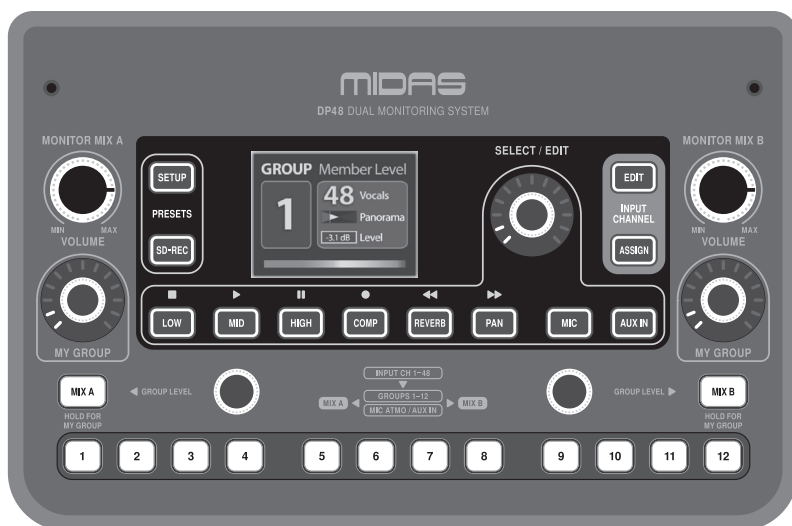




DP48

Dual 48 Channel Personal Monitor Mixer with SD Card Recorder,
Stereo Ambience Microphone and Remote Powering

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけた、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

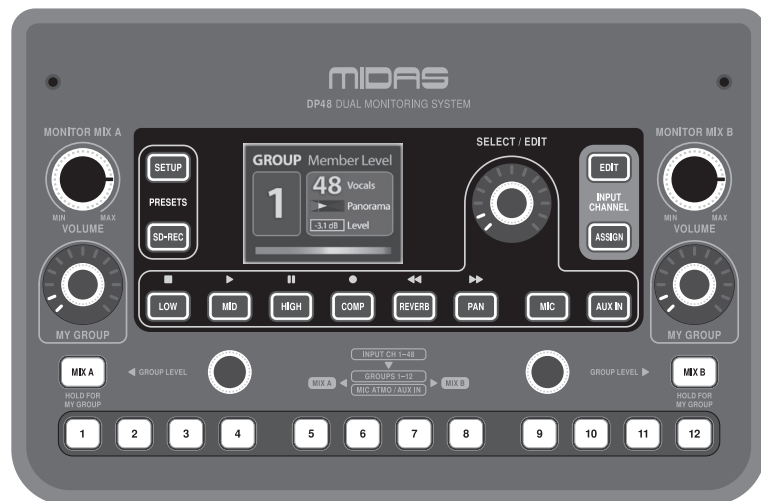
法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

はじめに



ようこそ！

DP48 パーソナルモニターミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

DP48 ユニットは、オプションの DP48 MB 取り付けブラケットシステム（別売り）を使用してマイクスタンドに取り付けるのに適したコンパクトな形式で収納されています。

すべてのユーザーコントロールはトップパネルに使いやすいように配置されており、すべてのプライマリコネクタは DP48 のリアパネルにあります。

DP48 デュアルモニタリングミキサーは、低レイテンシの浮動小数点オーディオエンジンを使用して、1 人または 2 人のユーザーに独立したミックスで優れたステージと IEM（インイヤーモニタリング）サウンドを提供します。ミキサーは、SINGLE（1 人のミュージシャンに 1 つのミックス、デュアル MY GROUP ノブを使用可能）と DUAL（2 人のミュージシャンに別々のミックス）の 2 つの異なるモードで操作できます。

DP48 の AES50 接続は、12 のステレオグループに自由にミックスできる 48 kHz / 24 ビットの解像度で 48 の個別の入力チャンネルを提供します。12 のステレオグループはすべて、セミパラメトリック 3 バンド EQ、コンプレッション、リバーブセンドを備えています。ミックス A と B には、それぞれ独自の EQ 処理と調整可能なブリックウォールリミッターがあり、電話出力の過度のレベルを防ぎます。

DP48 には、ミックスを設定する際のチャンネルからグループへの割り当てを簡素化する自動設定機能も含まれています。これで、グループを最初から手動で設定する代わりに、DP48 は AES50 データストリームを自動的に評価し、チャンネルの色やチャンネル名などの特定の共通機能を共有するすべてのチャンネルをグループ 1~12 に割り当てることができます。これにより、この自動構成機能により、エンジニアは接続された IEM（インイヤーモニタリング）の世界全体にミックス構造を簡単に分散させることができます。

特徴

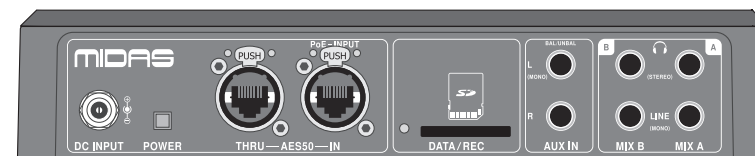
- Midas パーソナルモニタリングシステムハブと互換性のあるデュアル 48 チャンネルパーソナルモニターミキサー
- 12 のステレオグループにより、完全に構成可能なステムグループからのパーソナルミックスの迅速な作成とバランス調整が可能になります
- デュアルミックス機能により、2 つの完全なモニターミックスを独立して制御できます
- リハーサルセッションとパフォーマンスのステレオ録音と再生のための統合 SD カードインターフェース
- 内蔵ステレオアンビエンスマイクが提供します
- インイヤーモニターで孤立感をなくすステージ上のサウンドフィールド
- スタジオ品質のリバーブは、メインコンソールから独立して、パーソナルインイヤーミックスに空間的な雰囲気を追加します
- Power over Ethernet (PoE) を備えた Midas ハブからの直接 AES50 接続を介したリモート給電
- 独立した DC 電源により、DP48 パーソナルモニターミキサーのデジタイゼーション接続が可能になり、PoE ハブなしで使用できます。
- Midas および Behringer デジタルコンソールや I/O ボックスを含む 44.1 / 48 kHz AES50 搭載デバイスと互換性があります
- Midas PRO SERIES および M32 コンソール入力チャンネルのラベリングと色情報は、AES50 入力チャンネルを介して DP48 パーソナルモニターミキサーに送信されます
- AES50 リターンチャンネルを使用すると、パーソナルミックスをコンソールまたはハブに送り返して、ワイヤレス IEM トランスミッターに接続できます。
- シールド付き CAT5 / 5e ケーブルを介した最大 80 m のリモート操作を推奨
- Midas ハブを介した DP48 パーソナルモニターミキサーのリモートセットアップと制御
- 両方が同じハブに接続されているか、デジタイゼーション構成で使用されている場合の別の DP48 の完全なリモートコントロール
- ハイコントラスト 2.4" カラー TFT ディスプレイ画面は、ミックスパラメーター、メーター、グループ割り当ての明確な概要を提供します
- ローカルクリックトラック用のアナログステレオ補助入力
- すべてのステージモニタリング環境で使用するための高出力ヘッドフォン出力
- 完全に調整可能なリミッターにより、音の露出制限内で安全な監視レベルが可能になります
- DP48MB アダプター付きのマイクスタンドにしっかりと取り付けます（別売）

このマニュアルについて

DP48 パーソナルモニターミキサーの取扱説明書です。このマニュアルは、開梱、設置、接続、セットアップ、および操作の手順を説明することにより、ユニットをできるだけ早く設置して操作できるようにすることを目的としています。DP48 に慣れるために、上部パネルと背面パネルの説明と、わかりやすいユーザー指示があります。

追加情報について

DP48 の信号フローとアーキテクチャの概要と概要については、オンラインの DP48 製品ページ (<https://www.midasconsoles.com/product.html?modelCode=P08BMX>) に掲載されている補足のブロック図/操作チャートを参照してください。



はじめに

開梱

DP48 ユニートを慎重に開梱します。次に、輸送中に発生した可能性のある損傷の兆候がないかユニットを注意深く検査し、損傷が見つかった場合はすぐに宅配便業者に通知します。

DP48 機器パッケージの内容を確認してください。不足している、正しくない、または欠陥のある部品がある場合は、最寄りの販売代理店または Midas サポートにお問い合わせください。

このボックスの中に、次のアイテムがあります。

- DP48 パーソナルミキサー
- 外部電源
- クイックスタートガイド

機器をメーカーまたはサプライヤーに返却する必要がある場合、または後でユニットを輸送または出荷する必要がある場合に備えて、元の梱包を保持してください。

力

DP48 ユニートは、AES50 接続を介してリモートで、または付属の外部電源を直接接続することで電力を供給できます。

注意: 電源投入時、MONITOR MIX A または MONITOR MIX B つまみの位置が約 1 cm 以上の場合。25% (9 時)、デバイスはロックされたままになり、オーディオはミュートされ、次の表示がディスプレイに表示されます。

ATTENTION!

TURN DOWN VOLUME
OF MONITOR MIX A / B

このセキュリティメカニズムは、耳を保護し、過度の大音量による損傷からヘッドフォンを保護します。デバイスのロックを解除してオーディオを再度アクティブにするには、両方のノブを反時計回りに完全に回します。

接続する

DP48 ユニートは、次のリード線とコネクタを使用します。

AES50 接続:

ステータス表示付きの Neutrik Ether CON

一次アナログ入力:

補助入力-バランス型 1/4" TRS コネクタ

一次アナログ出力:

電話-ステレオデュアル 1/4" TRS コネクタ

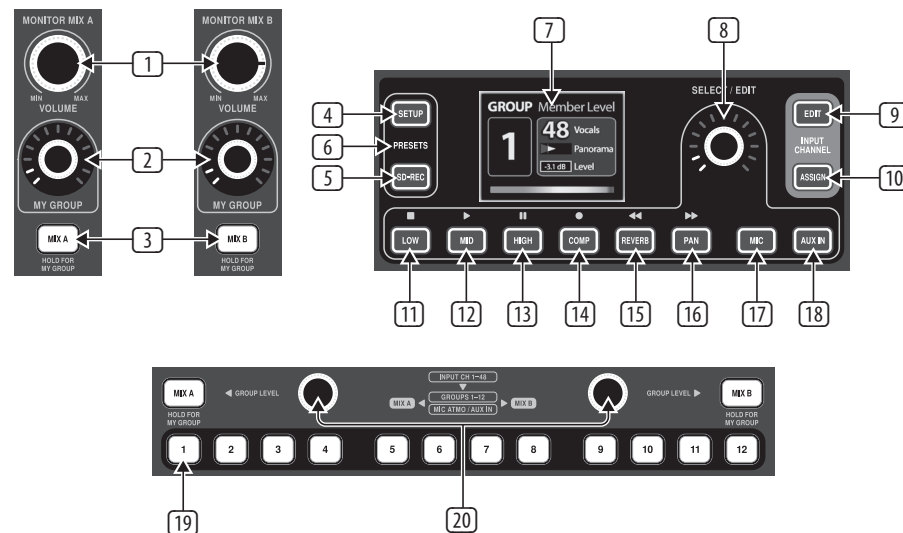
モノライン出力-バランスの取れた 1/4" TRS コネクタ

電源接続:

AES50 を介したリモート電源

外部 DC 電源

トップパネルとリアパネル



- VOLUME** ノブは、ノブのそれぞれのミックスの全体的な出力ボリュームを制御します。
- MY GROUP** ノブを 12 のグループの 1 つに割り当てて、それぞれの MIX A / MIX B 出力でそのグループのレベルを永続的に制御できます。
- MIX A / MIX B** ボタンを使用すると、EQ、リミッター、リバーブリターンなどのミックスの処理を選択できます。
- SETUP** ボタンは、ミキサーモード、SD レコーダー、リバーブタイプ、AUX IN 入力、アンビエンスマイク、明るさ、リモコン、その他の一般的な設定にアクセスします。
- SD-REC** FAT 32 フォーマットの SD カードがリアパネルスロットにある場合、ボタンは 2 トラックの録音/再生操作を開きます (5 を参照)。
- PRESETS** (SETUP と SD-REC を同時に押す) 完全なミックスプリセットを保存およびロードできます。SD カードでミックスプリセットをインポート/エクスポートするか、12 の内部メモリスロットの 1 つを使用できます。RESET 機能を使用して、12 個のメモリスロットをクリアし、優先される工場出荷時のステータスを再確立します。
- DISPLAY** パラメータ、チャンネルレベル、チャンネルグループなど、現在のミックスに関するデータを表示します。
- SELECT/EDIT** プッシュエンコーダーを使用すると、さまざまなパラメータを選択および調整できます。
- EDIT** ボタンを使用すると、選択したグループに割り当てられた入力信号のレベルとパンの調整にアクセスできます。レベルとパンのデフォルト設定は 0 dB センターです。編集モードで調整を行うと、選択したグループが自動的にソロになります。

10 **ASSIGN** ボタンは、チャンネルをグループに割り当てるために使用されます。

注意: 次の点 に注意してください:

- 選択した AES50 入力チャンネルは自動的にソロ化され、チャンネルの割り当てが簡単になります。
- MIX A / MIX B ボタンまたはグループボタンのいずれかがアクティブな場合、そのグループまたはミックスの処理 (EQ、コンプレッサー、リバーブなど) を調整できます。

11 **LOW** () ボタンは、現在選択されているグループ、または選択されたミックス A または B の低音平衡化パラメーターを選択します。SELECT/EDIT プッシュエンコーダーを回して調整します。LOW () ボタンは、SD 録音/再生のコントロールとしても機能します。

12 **MID** () ボタンは、現在選択されているグループ、または選択されたミックス A または B のミッドレンジ平衡化パラメーターを選択します。SELECT/EDIT プッシュエンコーダーを回して調整します。MID () ボタンは、SD の記録/再生のコントロールとしても機能します。

13 **HIGH** () ボタンは、現在選択されているグループ、または選択されているミックス A または B の高音域の平衡化パラメーターを選択します。SELECT/EDIT プッシュエンコーダーを回して調整します。HIGH () ボタンは、SD 録音/再生のコントロールとしても機能します。

14 **COMP** () ボタンは、選択した GROUPS 1-12 または MIX A / MIX B ボタンに応じて、Group COMPRESSOR または LIMITER ウィンドウを開きます。

- グループ 1~12 のボタンを選択すると、そのグループの圧縮設定を調整できます。
- MIX A または MIX B ボタンを選択すると、選択したミックスのピーク制限しきい値を調整できます。(注: リミッターは常にオンになっています)

COMP () ボタンは、SD の記録/再生のコントロールとしても機能します。

15 **REVERB** () ボタンをクリックすると、次のパラメータで調整ダイアログが開きます。

- 選択したグループのリバーブセンドレベル
- 選択したミックスのリバーブリターンレベル

REVERB () ボタンは、SD 録音/再生のコントロールとしても機能します。

16 **PAN** () ボタンは、現在選択されているグループのパノラマ設定にアクセスし、MIX A および MIX B に送信されます。PAN () ボタンは、SD 録音/再生のコントロールとしても機能します。

17 **MIC** ボタンは、イコライザーまたはミックスレベル調整用のアンビエントマイクオーディオを選択します。照らされた隣接するボタン (LOW、MID、HIGH、または PAN) のいずれかを選択して編集できます。

18 **AUX** 入力 ボタンは、イコライザーまたはミックスレベル調整用の補助オーディオ入力を選択します。照らされた隣接するボタン (LOW、MID、HIGH、または PAN) のいずれかを選択して編集できます。

19 **グループ 1~12** ボタンは、イコライザーまたはミックスレベル調整用のグループオーディオを選択します。点灯しているボタン (LOW、MID、HIGH、COMP、REVERB、PAN) のいずれかを選択して編集できます。

20 **グループレベル** ノブを使用すると、現在 GROUPS 1~12 ボタンで選択されているグループのレベルを直接調整できます。MIX A または MIX B に移動します。

21 **DC 入力** 付属の外部電源を接続します。Midas 外部電源のみを使用してください。

22 **パワー** ボタンはユニットのオンとオフを切り替えます。

23 **AES50 スルー/イン** EtherCON ソケットは、デジタルコンソールへの接続を提供します。AES50 接続は、シールドされた Cat-5e イーサネットケーブルを介してオーディオと制御データを双方向に渡すことができます。AES50 IN ソケットは、AES50 を介して接続された最初の DP48 のアダプターなしの操作のために、リモート PoE (Power over Ethernet) も受け入れます。各ソケットには、赤と緑の LED のベアがあり、次のことを示します。

- 緑の脈動と赤の消灯 = 有効な音声と有効な制御データ。アクティブなリンク。
- 緑は常に点灯し、赤は消灯 = 有効な音声と有効な制御データ。スタンバイリンク。
- 緑が消え、赤が点灯 = クロック同期が利用できず、音声がありません。リンクに失敗しました。

24 **データ/ REC** スロットを使用すると、個人のステレオミックスを SD カードメディアに直接記録できます。SD カードに記録されたミックスは、ミックス A またはミックス B に直接再生できます (再生レベルは、セットアップメニューの 3/8 ページで設定されています)。

25 **AUX 入力** 入力により、追加のラインレベルステレオ (L および R 入力) またはモノラル (L 入力のみ) 入力を、1/4" TRS コネクタ付きのケーブルを使用してミックスにルーティングできます (たとえば、ローカルクリックトラックまたはメトロノーム信号を挿入するため)。

26 **電話 A/B** 出力は、ヘッドホンまたは他のモニタリングシステムを介してモニタリングするためにアクティブミックスを送信します。

27 **単核症** 出力ジャックは、1/4" TRS コネクタを備えたケーブルを介してラインレベルのバランスモノラル信号を送信するために使用できます (たとえば、ローカルステージモニターに給電するため)。

操作

コントロールとインジケーター

どの操作でも、その操作に使用できる機能ボタンは白いバックライトで点灯し、ボタンがアクティブであることを示します。たとえば、LOW / MID / HIGH イコライザーまたは COMP (コンプレッサー) ボタンは、GROUPS 1-12 または MIX A / MIX B ボタンのいずれかが押されたときに点灯します。

ボタンを繰り返し押すことで、どの選択でもオン/オフを切り替えることができます。特定の機能ボタンが使用できない場合は、最初に他のアクティブな機能をオフにすることを検討してください。

一部のメニューでは、REVERB (<<) ボタンと PAN (>>) ボタンを使用してページ間を移動します。

ミックスモードの選択

最初のステップとして、ニーズに合わせてミックスモードを選択する必要があります。たとえば、同じ DP48 ミキサーを別のミュージシャンと共有していますか、それともミキサーを使用している唯一のミュージシャンになりますか？

各ミックスモード (SINGLE と DUAL) は、MIX A と MIX B の両方に共通するパラメーターを定義します

- **シングル** モードは MIX A のみを使用しますが、このモードでは、左右の MY GROUP ノブを異なるグループに割り当てて、その場で追加の制御を行うこともできます。ショートカット「MIX A」[「MIX B」]
- **デュアル** モードを使用すると、同じグループで MIX A と MIX B のレベルとパノラマの設定を変えることができます。

注意: MIX A と MIX B の両方で、基礎となるチャネルからグループへの構成は同じままです。

ミックスモードを選択するには

1. SETUP ボタンを押して、SETUP 画面にアクセスします。
2. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回すか、REVERB (<<) ボタンと PAN (>>) ボタンを押して、1/8 ページを選択します。
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、最初のエントリである MIXER MODE に到達します。
4. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押して、調整用のパラメーターをアクティブにします。
5. SELECT EDIT プッシュエンコーダーを回して、希望のミックスモードを選択します。

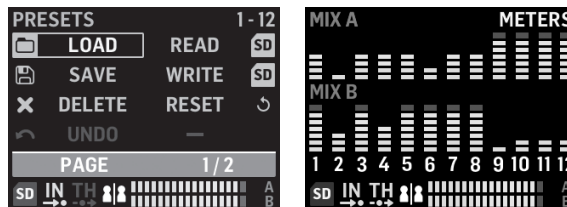
ミックスプリセットの保存と管理

ミックス設定のプリセット全体を、すべてのグループとパラメーターの割り当てを含めて、12 の内部ストレージスロットのいずれかに保存できます。ストレージスロットは、DP48 の電源がオフになった後でもプリセットを保存します。

ミックスプリセットを保存するには

1. SETUP ボタンと SD-REC ボタンを同時に押して、PRESETS 画面にアクセスします。
2. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、SAVE オプションまでスクロールします。
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押します。現在のミックスプリセットを保存するストレージスロットを選択するように求めるプロンプトが表示されます。
4. GROUPS 1~12 ボタンのいずれかを押して、ストレージスロットを選択します。保存されたミックスプリセットがすでに含まれているストレージスロットの場合、一致する GROUPS 1~12 ボタンが点灯します。

5. 保存されたプリセットがすでに含まれているスロットを選択すると、ストレージスロットにすでにあるプリセットを上書きするかどうかを尋ねるプロンプトが表示されます。
6. ストレージスロットを上書きする場合は、SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを使用して[はい]オプションを選択します。
7. システムにより、プリセットページに戻ります。
8. SETUP または SD-REC のいずれかを個別に押して、トップレベルの MIX A / MIX B METERS 画面に戻ります。



PRESETS 1/2 screen

MIX A / MIX B METERS screen

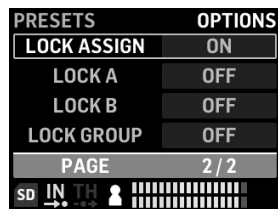
保存したミックスプリセットをロードするには

1. SETUP ボタンと SD-REC ボタンを同時に押して、PRESETS 画面にアクセスします。
2. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回転させて、LOAD オプションまでスクロールします。
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押します。ミックスプリセットをロードするストレージスロットを選択するように求めるプロンプトが表示されます。
4. GROUPS 1~12 ボタンのいずれかを押して、ストレージスロットを選択します。保存されたミックスプリセットがすでに含まれているストレージスロットの場合、一致する GROUPS 1~12 ボタンが点灯します。
5. その後、システムは自動的に[プリセット]ページに戻ります。
6. SETUP または SD-REC のいずれかを個別に押して、トップレベルの MIX A / MIX B METERS 画面に戻ります。

ミックスパラメータをデフォルト設定にリセットするには

1. SETUP ボタンと SD-REC ボタンを同時に押して、PRESETS 画面にアクセスします。
2. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回転させて、RESET オプションまでスクロールします。
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押します。リセットの決定を確認するように求めるプロンプトが表示されます。
4. 実際にリセットして初期化する場合は、SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを使用して[はい]オプションを選択します。
5. その後、システムは自動的に[プリセット]ページに戻ります。
6. SETUP または SD-REC のいずれかを個別に押して、トップレベルの MIX A / MIX B METERS 画面に戻ります。

注意: リセット/プリセットロードコマンドから保護するパラメータを制御するには、ページの「プリセットロック」セクションに移動します。PRESETS 画面の 2/2 で、次のオプションからロック設定を選択します。



- **LOCK ASSIGN (オン/オフ)** 入力チャンネルからグループへの割り当てをリセットまたはプリセットロードアクションから保護できます
- **ロック A (オン/オフ)** MIX A 処理 (グループレベルなし) をリセットまたはプリセットのオープン/ロードアクションから保護します
- **LOCK B (オン/オフ)** MIX B 処理 (グループレベルなし) をリセットまたはプリセットロードアクションから保護します
- **ロックグループ (オン/オフ)** グループ処理設定 (イコライザー、リミッター、Aux – MIX レベルを含む) をリセットまたはプリセットロードアクションから保護します。

RESET 関数は、次のように DP48 をデフォルト状態に戻します。

- 内部プリセットメモリはリセットでクリアされません
- DP48 で使用可能な AES50 入力信号があり、VOLUME コントロールをゆっくり上げると、すべての AES50 信号は、追加の構成なしですぐに聞こえるようになります。
- 48 の入力チャンネルはすべて 12 のグループに分散しています (つまり、グループごとに 4 つのチャンネル)
- デフォルトのグループチャンネルバンは中央に配置されます
- デフォルトのグループメンバーレベル設定は 0 dB の個別レベルです
- A と B をミックス
 - すべて EQ 0 dB、Low = 200 Hz、Mid = 2 kHz、High = 6 kHz
 - リミッター -30 dB とリバーブリターンオフ
 - マイクは -10 dB を中心とし、+20 dB スイッチがオンになっています
 - 補助入力 -10 dB を中心とし、+12 dB スイッチがオンになっています
 - HALL リバーブを選択
- リモート機能オフ

- すべてのグループのデフォルトレベルは次のように設定されています。
 - -10 dB レベルに設定、センターバン
 - すべての EQ ゲイン = 0 dB (Low = 200 Hz、Mid = 2 kHz、High = 6 kHz)
 - コンプレッサー 0% とリバーブセンドオフ
 - ミックス A とミックス B の両方にミックスされたすべてのグループ
 - 私のグループはまだ割り当てられていません

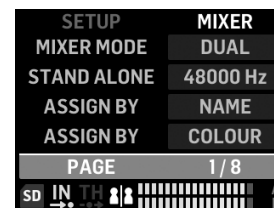
チャンネルとグループの自動構成

チャンネルとグループの自動構成

DP48 の「ASSIGN BY」マクロは、着信 AES50 チャンネルのグループへの自動マッピングを特徴としています。このマッピングは、FOH またはミキシングボードのモニターエンジニアが設定したチャンネルの色とチャンネル名の情報を使用して行うことができます。

注意: SETUP / ASSIGN BY マクロは、機能の起動時の AES50 チャンネルの色/名前に従って、チャンネルを1回だけマップします。関数は自動的に更新されないため、エンジニアが後でセットアップを変更した場合は、AutoConfig 関数を再起動して、新しい構成を DP48 にキャプチャする必要があります。結果に満足できない場合は、いつでも自動マッピングを手動で変更できます。

チャンネルグループの割り当てを自動構成するには、SETUP ボタンを押し、SETUP 画面で希望の ASSIGN BY 機能を選択します。



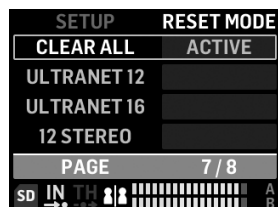
SETUP 1/8 screen

- ASSIGN BY NAME は、AES50 データストリームのチャンネル名情報を使用して、入力チャンネルを DP48 グループに自動的にマッピングします。これには次の詳細が含まれます。
 - チャンネルがチャンネル名でグループ 1~12 に割り当てられることを確認/キャンセルします
 - 関数は、以前のすべてのグループチャンネル割り当てをクリアします
 - - ' * (), などの特定の先頭文字を含むチャンネル。/[] <> は 0 dB レベルで割り当てられたグループにミックスされ、中央にバンされます
 - 先頭の文字が異なる入力チャンネルは自動的に割り当てられません
 - チャンネルは後で ASSIGN ボタンを押して手動で再割り当てできます

- **ASSIGN BY COLOR** は、AES50 データストリームのチャンネルカラー情報を使用して、入力チャンネルを DP48 グループに自動的にマッピングします。これには次の詳細が含まれます。
 - チャンネルがグループ 1~12 に色で割り当てられることを確認/キャンセルします
 - 関数は、以前のすべてのグループチャンネル割り当てをクリアします
 - WH(白)または BK(黒) の色の入力チャンネルは割り当てられません
 - デフォルトでは、チャンネルは 0 dB レベルで割り当てられたグループにミックスされ、中央にパンされます
 - チャンネルは後で ASSIGN ボタンを押すことで手動で再割り当てできます
- **GROUP NAMES IMPORT** は、外部ワードプロセッサ (Microsoft Word、Open Office Writer、または単純なテキストエディタなど) またはスプレッドシート/計算プログラム (Microsoft Excel や OpenOffice など) を使用してすべてのグループに名前を付けることができる代替方法です。計算
 - テキストエディタを使用した手順の例：
 1. テキストエディタを開き、新しい空のドキュメントを開始します。
 2. グループ名を「,」または「;」で区切って 1 行に記述します。」。
 3. ファイルを .csv 形式で SD カードに保存します。
 4. この SD カードを DP48 に挿入します。
 5. 設定画面 8/8 ページに移動します。
 6. GRP 名を選択します。
 7. [インポート]を選択します。
 - スプレッドシート/計算プログラムを使用した手順の例：
 1. スプレッドシート/計算プログラムを開き、空のグラフから始めます。
 2. セルごとに 1 つのグループ名を挿入します (左から右へ)。
 3. ファイルを .csv 形式で SD カードに保存します。
 4. 次に、テキストエディタの手順の説明に従って、手順 4~7 に従います。

ノート:

1. ウムラウト/母音 (Ä, Ö, Ü) などの特殊文字は使用しないでください。
2. 大文字と小文字の区別 (大きい/小さい文字) は一般的にサポートされています。
3. グループ名は最大に制限されています。7 文字 (空白を含む)。



SETUP 7/8 screen

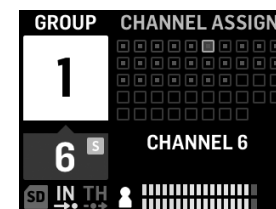
SETUP 7/8 画面では、RESET が実行されたときにチャンネルグループのプリファレンスを選択できます。デフォルトは「12 STEREO」です。

- **CLEAR ALL** は、すべてのグループからすべての入力チャンネル割り当てを削除します。
- **ULTRANET 12** は、12 個のモノラルグループを自動的に作成します。
 - 関数は、すべてのグループからすべての既存のチャンネル割り当てをクリアします
 - 機能は、AES50 入力チャンネル 33~44 をグループ 1~12 にマップします。
- **ULTRANET 16** は、8 つのモノラルグループと 4 つのステレオグループを自動的に作成します。
 - 関数は、すべてのグループからすべての既存のチャンネル割り当てをクリアします
 - 関数は、次のように AES50 チャンネルを割り当てます。
 - 入力チャンネル 33~40 はグループ 1~8 に割り当てられています
 - 入力チャンネル 41~48 は、ステレオペアとしてグループ 9~12 に割り当てられます。
- **12 STEREO** は、最初の 24 個の AES50 チャンネルから 12 個のステレオグループを自動的に作成します
 - 機能アーキテクチャは、FOH エンジニアが個々のソースではなく、モニタリング用のステレオステムグループを提供することを前提としています。
 - 機能は、ドラム、ホーン、弦、合唱団、キー、ベース、ギターなど、主に DP48 を使用するミュージシャンによるレベル調整が必要な楽器のグループで最適に機能します。

入力チャンネルとグループの構成

ASSIGN モードにアクセスするには、まず SETUP、SD-REC、MIX A、および MIX B ボタンが点灯していないことを確認してください。

ASSIGN モードでは、GROUP / CHANNEL ASSIGN 画面に、48 個の使用可能な AES50 チャンネルがさまざまな色の一連のボックスとして表示されます。画面左側にグループ番号とチャンネル番号が表示されます。



GROUP/CHANNEL ASSIGN screen

GROUP / CHANNEL ASSIGN 画面では、以下のカラーキューで個々のチャンネルの割り当て状況を判断できます。

- **琥珀色のフレーム** – チャンネルが選択されています
- **青いフレーム** – チャンネルは現在アクティブなグループに割り当てられています
- **点滅** – オーディオ信号がチャンネルに存在します

グループへのチャンネルの割り当て/割り当て解除

1. INPUT CHANNEL / ASSIGN ボタンを押して、GROUP / CHANNEL ASSIGN 画面に入ります。
2. DP48 トップパネルの下端にある GROUPS 1~12 ボタンの 1 つを押して、グループを選択します。現在選択されているグループに割り当てられているチャンネルは青色で表示されます。

注意: チャンネルを簡単に識別できるように、選択した AES50 チャンネルのソロオーディオが MIX A / B オーディオに置き換わります。

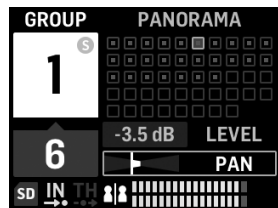
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、目的のチャンネルまでスクロールします。目的のチャンネルを選択する準備ができると、チャンネルのボックスの色が灰色から琥珀色のフレームに変わります。
4. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押して、選択したチャンネルを現在のグループに割り当て/割り当て解除します。選択したチャンネルのボックスは、チャンネルが現在のグループに正常に割り当てられたことを示すために、黄色の枠が付いた青い塗りつぶしに色が変わります。

*着信 AES50 データストリームには、AES50 ソースに応じて、チャンネル名と色分け情報も含まれる場合があります。

入力チャンネルレベルとパノラマの設定

トップレベルの MIX A / MIX B METERS 画面には、グループのレベル設定のみが表示されます。

個々のチャンネルのレベルとパンは、グループ内で個別に調整および設定することしかできません。グループ内でチャンネルレベルとパンを設定したら、MIX A / MIX B METERS 画面でグループ全体のレベルとパンのバランスをとることができます。



INPUT CHANNEL EDIT screen

グループ内のレベルとパンを編集するには

1. チャンネルレベルを編集してパンする前に、全体的なミックスボリュームとグループレベルが入力チャンネルからオーディオを聞くことができるほど十分に大きいことを確認してください。
2. INPUT CHANNEL / EDIT ボタンを押して、INPUT CHANNEL 画面に入ります。
3. GROUPS 1~12 ボタンのいずれかを押して、特定のグループを選択します。選択したグループは自動的にソロになり、MIX A / MIX B オーディオに置き換わります。
4. 現在選択されているグループに割り当てられているチャンネルは、青いボックスとして表示されます。青いボックスが表示されていない場合、選択したグループはまだ空です。
5. REVERB (<<) ボタンと PAN (>>) ボタンを使用して、グループ内の入力チャンネルを選択します。選択したチャンネルは、青色で塗りつぶされた黄色のボックスとして表示されます。

6. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、現在アクティブなレベルまたはパンパラメーターを調整します。エンコーダーを押して、LEVEL と PAN のどちらかを選択します。
7. このグループのメンバーの組み合わせが設定されるまで手順 5~6 を繰り返してから、別のグループボタンを押して先に進むことを検討してください。
8. 完了したら、もう一度[編集]ボタンを押すと、選択したグループ処理ページに戻り、グループソロが自動的にオフになります。
9. その後、次のアクションを実行できます。
 - それぞれの GROUP LEVEL コントロールを回して、他のグループとの関係でそのグループのミックスレベルを調整します
 - そのグループの処理、つまりコンプレッサー、リバーブセンド、イコライザーを調整します。
 - そのグループのボタンをもう一度押すと、メータリングの概要 (アイドル) 画面に戻ります。

最終ミックスでグループレベルを設定するには

最終的なミックスの作成を開始するには、GROUP LEVEL ノブを使用して、チャンネルのグループ全体のレベルを直接設定します。

1. GROUPS 1~12 ボタンのいずれかを押して、レベル設定するグループを選択します。システムは、そのグループの GROUP / LEVEL 画面に移動します。
2. GROUP LEVEL ノブを回して、グループ全体のレベルを 0.5 dB 刻みで調整します。左側の GROUP LEVEL ノブは、MIX A に向かう LEVEL A を制御し、右側の GROUP LEVEL ノブは、MIX B の LEVEL B を制御します。
3. グループ 1~12 のボタンのいずれかを押して、レベル調整する別のグループを選択します。
4. すべてのグループに十分なレベルが設定されるまで、手順 1~3 を繰り返します。
5. 終了するには、そのグループの GROUPS 1-12 ボタンを押して、現在アクティブなグループの選択を解除します。

注意: グループの GROUPS 1~12 ボタンを選択し、現在アクティブなミックスの GROUP LEVEL ノブを回すと、いつでもグループのレベルを調整できます。

最終ミックスでグループパンニングを設定するには

必要に応じて、グループ全体をステレオフィールドで一緒にシフトできます。ほとんどの場合、AES50 チャンネルを最初にグループに設定するときにステレオパンニングを設定しますが、必要に応じて、グループ全体のパンニングを一度にシフトできます。

1. GROUPS 1-12 ボタンを押して、パン調整するグループを選択します。
2. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押して、PAN A と PAN B を切り替えます (MIX A と MIX B に送信されます)。
3. グループ全体の左から右へのパンが目的の場所に来るまで、SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回転させます。
4. すべてのグループのパンが設定されるまで、手順 1~3 を繰り返します。
5. 終了するには、そのグループの GROUPS 1-12 ボタンを押して、現在アクティブなグループの選択を解除します。

12 のグループの 1 つを MY GROUP ノブに割り当てる

MY GROUP ノブを使用して、他のミックスと比較して、個人のグループレベルをすばやく調整します。MY GROUP ノブは、ディスプレイでアクティブになっている操作メニューに関係なく、いつでも個人レベルの調整に使用できます。

MY GROUP ノブに割り当てられた個人グループには、単一のチャンネル（例：ボーカルまたはギターのみ）または複数のチャンネル（例：ボーカルとギターを合わせて、グループ内でレベルのバランスをとる）を含めることができます。

注意: 各 MY GROUP ノブには、一度に 1 つのグループのみを割り当てることができます。

MY GROUP ノブにグループを割り当てるには

1. MIX A または MIX B ボタンを押し続けます。
2. MY GROUP つまみに割り当てたいグループの GROUPS 1-12 ボタンを押します。画面の大きな青いフィールドにアクティブな MIX (A または B) が表示され、青いフィールドの下隅に MY GROUP ノブに割り当てられたグループ番号が表示されます。
3. MY GROUP つまみを回して、MY GROUP つまみの周りの LED リングで示されるグループの LEVEL を調整します。
4. dB 値で表される LEVEL の変化を確認するには、割り当てられたグループの GROUPS 1-12 ボタンを押します。次に、割り当てられた MY GROUP ノブを回すと、LEVEL A (MIX A) / LEVEL B (MIX B) の dB 値が変化します。

注意: グループが MIX A / B に割り当てられていない場合、MY GROUP ノブの 1 つを回しても LEVEL A / B は変更されません。

5. グループの点灯している GROUPS 1-12 ボタンまたは点灯している MIX A / B ボタン（上記の手順 1 から）を押して、トップレベルの MIX A / MIX B METERS 画面に戻ります。
6. これで、MY GROUP ノブを使用して、追加の画面にアクセスすることなく、個人のグループのミックスレベルを即座に調整できます。
7. 別のグループを MIX A または MIX B に割り当てるには、手順 1~2 を繰り返し、別のグループ 1~12 ボタンを押します。現在割り当てられているグループを MY GROUP ノブから割り当て解除するには、手順 1~2 を繰り返し、現在割り当てられているグループの GROUPS 1~12 ボタンを押します。これで、下隅にグループ番号を示す白いフィールドが、大きな青い MIX A (または MIX B) フィールドから消えます。

注意: 割り当てられていない MY GROUP ノブを初めて回すと、システムはグループをノブに割り当てる方法を示すプロンプトウィンドウを起動します。グループを MY GROUP ノブに割り当てると、後で別のグループを割り当てずにグループの割り当てを解除しない限り、自動プロンプトは表示されなくなります。

最終ミックスに EQ とリバーブを追加する

最終ミックスに EQ とリバーブを追加するには、次の手順に従います。

1. MIX A / MIX B ボタンを押して MIX 画面に入ります。
2. LOW / MID / HIGH ボタンを押して、イコライザー設定にアクセスします。LOW、MID、HIGH、COMP、REVERB のコントロールボタンが点灯します。
3. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、選択した周波数帯域のレベルを上げたり下げたりします。
4. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを押して回転させ、選択した周波数帯域のカットオフ（シェルフ）または中心点（パラメトリック）を調整します。調整によって作成された複合等化曲線が画面の上部に表示されます。
5. REVERB ボタンを押して、REVERB レベル設定にアクセスします。
6. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、REVERB レベルを希望の設定に上げます。
7. 完了したら、MIX A / MIX B ボタンを押して終了します。

NOTE: リバーブの種類を変更するには、SETUP を押し、SETUP メニューの 4/8 ページに移動して、AMBIENCE、CLUB、HALL、または CATHEDRAL のリバーブプログラムから選択します。

聴覚を保護します（音量とリミッターの設定）

リミッターは、シグナルチェーンの最終ボリュームコントロールの後に来るため、選択する特定のリミッターしきい値は、最終ミックスボリュームを設定する音量によって異なります。

最良の結果を得るには、最初に最終的な MIX A / MIX B ボリュームを設定してから、リミッターのしきい値を下げて、ボリュームのスパイクやサージを含む可能性のある出力にハードキャップを設定することをお勧めします。

聴覚の疲労や損傷を防ぐために、リミッターのしきい値をできるだけ低く設定することを検討してください。適切なしきい値設定を使用すると、パフォーマンスの熱気の中で何が起ころうと超えてはならない安全な上限があります。

最終的な VOLUME および LIMITER パラメーターを設定するには、ヘッドセットからオーディオを再生し、次の手順に従います。

1. MIX A / MIX B ボタンを押して MIX 画面に入ります。LOW、MID、HIGH、COMP、REVERB のコントロールボタンが点灯します。
2. VOLUME をヘッドセットに必要な最大レベルまでゆっくりと上げます。
3. COMP ボタンを押して、調整用の LIMITER しきい値にアクセスします。
4. SELECT / EDIT プッシュエンコーダーを回して、LIMITER しきい値を希望の設定まで下げます。画面の「L」インジケーターが点灯し始めるまでしきい値を下げることをお勧めします。これは、リミッターが信号の音量ピークに反応し始めていることを示しています。
5. 完了したら、MIX A / MIX B ボタンを押して終了します。

SOLO モード

識別を支援するために、DP48 は、次のような特定の機能および特定の条件下でオーディオを自動的にソロにします。

- **割当** - 入力チャンネルをグループに割り当てている間、選択した入力チャンネルは簡単に識別できるようにソロになります。 ASSIGN を終了すると、チャンネルソロは自動的に無効になります。
- **編集** - 割り当てられた入力チャンネルのグループミックスを編集しているときに、選択したグループが自動的にソロになります。 EDIT を終了すると、グループソロは自動的に無効になります。
- **グループ処理** - グループの処理を調整するなど、グループをソロで聴きたい場合は、それぞれのグループ 1~12、マイク、または AUX 入力ボタンを押し続けます。そのボタンの LED が点滅し始め、グループディスプレイに黄色が表示されます「S」グループ番号の上。

ソロモードも次のように動作します。

- ソロモードで別のグループに切り替えるか、MIC または AUX IN ボタンを選択すると、ソロは選択した内容に従って、新しく選択したグループまたは入力に移動します。
- ソロ化されたグループの選択を解除するか、MIX A / MIX B や SETUP などの他のボタンを押すと、ソロは自動的にオフになります。
- ソロのグループボタンをもう一度押し続けて、ソロをオフにすることもできます。

技術仕様

接続	
電話ミックス A / B	2 x ¼" TRS、ステレオ、アンバランス、25 Ω
ラインミックス A / B	2 x ¼" TRS、モノラル、バランス型、1 kΩ 2 x ¼" TRS、モノラル、アンバランス型、500 Ω
補助	2 x ¼" TRS、アンバランス、20 kΩ 2 x ¼" TRS、バランス、40 kΩ
AES50 スルー/イン	2 x RJ45
イコライザ	
低	±15 dB、セミパラメトリック、低シェルフ
ミッド	±15 dB、セミパラメトリック、ピーク
高い	±15 dB、セミパラメトリック、高シェルフ
周波数	20 Hz~22 kHz、調整可能
出力	
リミッタ	比率 ∞ : 1
レベル、最大	+12.8 dBu (電話)
ミックス A / ミックス B	2 x ステレオ
AES50	
オーディオチャンネル @ 48 kHz	48
サンプルレート	44.1 / 48 kHz
サンプルの単語の長さ	24 ビット
クロック同期	AES50 IN
レイテンシー	分 ノードあたり 70 μs (AES50)
ケーブル	イーサネット CAT5e
ケーブルの長さデータ/記録	最大 80 m を推奨
データ/記録	
SD / SDHC フォーマット	FAT32
カードメモリー	最大 32 GB をサポート
電源	
AES50 入力	PoE (IEEE802.3af)
消費電力	最大 14 W (DC アダプター付き)
主電源接続	外部電源 24 VDC / 600 mA (付属)
寸法/重量	
寸法 (H x W x D)	69 x 242 x 164 mm (2.72 x 9.53 x 6.46")
重量	1.3 kg (2.9 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧

の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MusicTribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

